

時	1/11 金	1/12 土	1/13 日
8		8:00 朝食	8:00 朝食
9		安全管理者研修	
10		9:00 ・自然体験活動における安全管理-1 *主にCNEALコーディネーターを対象	9:00 分科会-Ⅲ ⑪⑫⑬⑭⑮
11		12:00 ・自然体験活動における安全管理-2 *主にCNEALインストラクターを対象	10:45 全体会② 11:45 まとめ・閉会式
12		12:00 昼食 12:30 第二部受付 12:45 施設オリエンテーション	12:00 解散
13	13:30 第一部受付	第二部 13:00 開会式	
14	第一部	13:10 全体会① オリエンテーションとアイスブレイキング	
15	14:00 自然体験活動 上級指導者研修	14:30 分科会-I ①②③④⑤	
16	17:00 *主にCONEトレーナー、 NEAL主任講師を対象		
17	17:00 夕食	17:30 夕食	
18	18:00 保険と事故事例研究	18:30 分科会-II ⑥⑦⑧⑨⑩	
19	19:30 *主にCONE包括保険加入者を対象	20:00 入浴	
20	20:00 情報交換会(任意)	20:30 情報交換会	

平成30年度全国自然体験活動指導者集会
全国キャラバン開催会場情報



ラップアップフォーラム 平成31年 3/15金～16土 国立オリンピック記念青少年総合センター

全国キャラバンの参加者やスタッフ、会場施設職員を対象に開催する1年間を集大成するフォーラムです。是非、ご参加ください。

平成30年度 子どもゆめ基金助成活動
全国自然体験活動指導者集会 **全国キャラバン**
自然体験活動フォーラムin江田島
自然体験活動は次世代へ

自然体験活動の社会的価値

平成29年度に引き続き、全国の国立青少年教育施設を会場に自然体験活動指導者(NEAL)をはじめ、アウトドア大好き人間や教育関係者、学生から社会人まで幅広い参加者を対象に「自然体験活動フォーラム」を開催します。

昨年度は「自然体験活動とアクティブラーニング」をサブテーマとしましたが、今年度は「自然体験活動の社会的価値とは何か、どのように高めるか」という視点で自然体験活動の普及促進へ向けてのディスカッション、SDGsや発達障害等をテーマとする分科会と共に、各地域での課題解決の場でもあります。

また、第一部では第二部のフォーラムに先立ち、様々な指導者研修講座が開設されますので、併せてご参加ください。

●と き：平成31年 **1/11金・12土・13日** **参加定員：100名**

第一部 11金14:00～12土12:00 / **第二部** 12土13:00～13日12:00

●ところ：**国立江田島青少年交流の家**

〒737-2126 広島県江田島市江田島町津久茂 1-1-1

●対 象：自然体験活動に興味ある人は、どなたでも。NEAL指導者大歓迎！

●参加費：**第一部** 各講座、別途参加費が必要です。
第二部 1/12・13に参加 **3,000円**(学生 **2,000円**)
1日のみ参加 **2,500円**

※別途、食費1,080円、情報交換会費920円、昼食が必要な方は1食560円が必要です。



主催：NPO 法人 自然体験活動推進協議会(CONE)

Council for Outdoor & Nature Experiences

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内

TEL 03-6407-8240 FAX 03-6407-8241 E-mail info@cone.jp 問い合わせ時間：月～金曜日 10:00～17:00

後援：文部科学省、国土交通省、農林水産省、環境省(予定)、公益財団法人日本環境教育フォーラム、ESD活動支援センター、NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟、広島県教育委員会、中国地方ESD活動支援センター

お申し込みは
こちらから



第一部

自然体験活動指導者研修

自然体験活動に様々な立場で関わる指導者に対して実施する専門研修です。
また、CONE トレーナーやNEAL 主任講師、NEAL コーディネーター、NEAL インストラクター等の登録更新が可能です。

自然体験活動上級指導者研修 1/11 金 14:00～17:00

*主にCONE トレーナー、
NEAL 主任講師を対象

講師 若林 千賀子
(若林環境教育事務所)

保険と事故事例研究 1/11 金 18:00～19:30

*主にCONE 包括保険加入者を対象

講師 町頭 隆児 (オフィステラ)

安全管理者研修 1/12 土 9:00～12:00

・自然体験活動における安全管理ー1

*主にNEAL コーディネーターを対象

講師 町頭 隆児
(オフィステラ)

・自然体験活動における安全管理ー2

*主にNEAL インストラクターを対象

講師 小林 孝之助
(セディア財団)



第二部

全体会① 1/12 土 13:10～14:30

オリエンテーションとアイスブレイキング

- ・フォーラム開催にあたっての趣旨説明
- ・新しい発見に向けての交流ウォーミングアップ

担当 福岡 奈織、花村 育海

分科会ーⅠ 1/12 土 14:30～16:30



分科会② 自然体験活動の災害モード

西日本豪雨災害の支援活動で活躍したRQ広島の出組事例報告から、災害時における自然体験活動のスキルやネットワークの活かし方を学びます。自然体験活動を行う指導者や団体の存在意義や可能性を見つめなおし、次なる災害の備えと新たな活動実践に向けて語りましょう。

講師 河野 宏樹氏・松原 裕樹氏

【河野 宏樹】自然体験活動が災害時に役立つことを示すため、東日本大震災や広島豪雨災害時の復興支援活動に関わっている。広島では、全国組織であるRQ災害教育センターと協働し、ボランティア活動の後方支援を担当する。RQ広島世話人、環境教育事務所Laef代表、NPO法人これからの学びネットワーク理事。



分科会④ “ボランティア”の謝金について情報交換しませんか？

運営協力をいただくボランティアへの謝金は、個人装備の強化や責任感、モチベーションの向上などスタッフ育成に効果を発揮します。ボランティアを募集する団体の視点と、ボランティアとして参加する人の視点で、お互いの立場や経験で「お金の話」をキーワードに、自然体験活動をより活性化するための情報交換の場にしたいと思います。

講師 馬場田 真一氏

一般社団法人ふるさと楽舎幹事。子どもたちの生き力につながる自然体験活動のため、豊かな自然が残る地域集落を活動フィールドとして存続させることを目指し、仲間と共に地域づくりに取り組む。今年は休耕田を復活させ耕作に取り組む。2002年には、オリジナルのお酒を造ることをミッションに毎日楽しんでいる。



全体会② 1/13 日 10:45～11:45

自然体験から生まれる価値

- ・分科会への参加や参加者どうしの交流した2日間を振り返ると共に、自然体験活動が個人にもたらす価値とは何か、社会に及ぼす価値とは何か、またそれらを高めるためにはどのような取り組みが考えられるか、参加者全員で考えてみます。

分科会① スウェーデン森のムッレ教育

ムッレ教育はスウェーデン発祥で、就学前から学童までESD(持続可能性のある発展のための教育)を担う人を育てることを目標としています。国内でも30年前から取り組む兵庫県や新潟県の実践例やこれからの保育にも欠かせない要素が含まれている「ムッレ教育」について学びます。

講師 杉山 浩之氏

広島文教女子大学教授で、ひろしま自然保育認証制度委員、日本自然保育学会理事を務める。2010年より森のようちえんの制度や内容を、最近では幼児の環境教育に関心をもち、国内外の幼稚園を数多く視察し研究する。



分科会③ アウトドアスキルをさらに磨こう

アウトドアスキルの一つである「ロープ結び」を習得し、参加者全員が協力して大型野外工作物「モンキーブリッジ」を製作します。これは、1本のロープを渡すところから始め、ロープだけで橋を作ります。完成後は、揺れる楽しさも味わいながら、全員で渡ってみましょう。

講師 角山 肇氏

スカウト運動の教育部門責任者である広島県連盟コミッショナーであると共に、広島第24団に所属し団委員長を務める。長らくボーイスカウト活動に関わる中で、多くの青少年の育成に関わってきた。自然体験活動推進協議会では、草創期からCONEトレーナーとして活動する。



分科会⑤ さとやまの学びカフェ

シンポジウムやフォーラム等に代わり、意識や情報を共有する場として広まっているのが「カフェ型式」。ゆるやかな対話のやり方について、楽しく情報共有します。野外活動を正規の授業カリキュラムに位置つけた事例と、オリジナルの「聞き手マニュアル」を素材に、対話の場をもっと楽しくする方法について考えます。

講師 河野 弥生氏・白川 勝信氏

【河野 弥生】認定NPO法人西中国山地自然史研究会スタッフ。ハカセ喫茶、エコカフェ、支所カフェなど、NPO主催のカフェ事業の立ち上げと推進に中心的に携わる。主催する「もんべる」が2017年度広島県の里山未来大賞を受賞した。



分科会ーⅡ 1/12 土 18:30～20:00



分科会⑦ 暮らしから考えるSDGs

講師 蔵矢 崇司氏・松原 裕樹氏

【蔵矢 崇司】「雑」芸員として「おもろそうなことは、何でもやってみる」をモットーに、半径2m以内の「極秘的生活密着型チャレンジ」で日々の「雑芸力」を養う。現在は「庭海」で、ほぼ毎日竿を振り食料調達。被災後は、人生の後半を持続可能な暮らしに努め、浅知恵を働かせ我家の復興を目指す。



分科会⑨ 自然体験活動と発達障がい

講師 櫻井 康博氏

埼玉大学教育学部教授(特別支援教育)。小学校2年生からボーイスカウトに参加、野外活動の楽しさを体験する。現在ボーイスカウト日本連盟では、特別な支援が必要な子どものキャンプ等に取り組んでいる。仕事では、小学校や特別支援学校の校長を歴任した後、長野大学社会福祉学部教授を経て現職。発達障がい児など特別な支援が必要な子どもの指導法が専門。



分科会ーⅢ 1/13 日 9:00～10:45



分科会⑫ 幼児の環境教育

講師 杉山 浩之氏・林 浩三氏

【杉山 浩之】広島文教女子大学教授で、ひろしま自然保育認証制度委員、日本自然保育学会理事を務める。2010年より森のようちえんの制度や内容を、最近では幼児の環境教育に関心をもち、国内外の幼稚園を数多く視察し研究する。



分科会⑭ 自然体験活動ネットワークのこれから

本フォーラムを主催する「自然体験活動推進協議会」の代表理事である佐藤初雄氏と共に「自然」や「体験」をキーワードとする活動団体のネットワーク組織の在り方について考えます。

講師 佐藤 初雄氏・堀江 清二氏

【堀江 清二】2002年設立の「まなび工房」や2008年設立の「これからの学びネットワーク」の代表を務め、子どもからおとなまで幅広い層へ体験活動を提供する。CONEトレーナーやNEAL主任講師として、数多くの指導者養成事業に携わる。



分科会⑥ ボディートークとコミュニケーション

「ボディートーク」は、文字通り「からだのおしゃべり」。子どもたちが発することば以前の心の動きを理解する方法としてのボディートークを体験し、そこから子どもへのかかわり方、コミュニケーションのとり方について考えます。併せて、みなさん自身が自分のからだ、こころと向き合うきっかけになればと思います。

講師 志賀 誠治氏・花村 育海氏

【志賀 誠治】広島県内の公益法人に15年間勤務。市民団体「広島心身医学協会」の事務局長としてもカウンセリング活動や心身医学の普及活動に取り組む。1994年に独立し、ボディートークセラピーやカウンセリングキャンプ、自然体験活動、環境教育などを実践。2005年からNPO法人ひろしま自然学校代表。



分科会⑧ シェアリングネイチャーエクササイズ

「今ここ」に意識を集中し、全ての自然とのつながりに気づき、自然と一体となる喜びの体験。秘めた歴史に富んだ江田島の夜の世界に、自分を見つめ直しに出かけてみませんか?「ピースウォーク」や「夜はともだち」などで、心を鎮め、夜の森にひとり座れば、さあどんな体験が待っているのでしょうか?一緒に深い自然体験を体感しましょう!

講師 住吉 和子氏

日本シェアリングネイチャー協会のトレーナーとして、長年にわたり、子どもから大人まで幅広い層への自然体験活動の指導にあたる。広島県シェアリングネイチャー協会理事長、ちびっこクラブ主宰などに携わる。



分科会⑩ 自然体験活動とアクティブラーニング

学校教育はもちろん様々な分野において展開され、自然体験活動においても欠かせないものとなりつつある「アクティブ・ラーニング」。しかし、実際のところどうなのか?本当に、自然体験活動でアクティブ・ラーニングは実現可能なのか?改めて考えるきっかけと、今後につながるヒントと一緒に探してみませんか?

講師 門田 卓史氏

企業や大学、スポーツチーム、学校教育、野外教育など様々な分野に、チームビルディングや組織開発、人材開発、ファシリテーショントレーニングなどをテーマとした教育プログラムを提供。また、大学の非常勤講師や人材育成に関するコンサルティングなども手掛ける。



分科会⑪ 山伏修行を体験してみよう!

山形の出羽三山「月山・羽黒山・湯殿山」には、山駆けや禊(みそぎ)などの修行に励む「羽黒山伏」が、今でも数多く存在します。本分科会では広島在住の「羽黒山伏」と一緒に山伏修行のさわりを体験した上で、現在の自然体験活動で大切にしたい感覚を呼び覚ましていきます。

講師 国好 雅夫氏・三浦 雄大氏・田村 陽至氏・河野 宏樹氏

【国好 雅夫】「羽黒山伏」である星野文雄先達のもと修行し、広島においても各地で山駆けや滝行など日々行っている。2017年からは星野先達のお話や宮島弥山の山伏修行体験(2泊3日)の世話人として山伏修行の裾野を広げる活動をしている。山伏名は「勇禊」。



分科会⑬ 今後のキャリアを考える若者の会

もしかして「次世代って私?」と思う人が集い、今取り組んでいる活動が将来どう活かされるのか、どのような仕事につながるのか、同世代の仲間と悩みや夢を共有し将来の展望を語りましょう!

講師 福岡 奈織氏・花村 育海氏

【福岡 奈織】学生時代に福山少年自然の家でボランティアスタッフとして活動。その後「これからの学びネットワーク」職員となり、放課後児童クラブや広島市教育委員会のプロジェクト講師など努める。



分科会⑮ 自然の学びは「自然の利用」から

子どもたちの発育に欠かせない自然体験は、地域社会の存続にとっても不可欠なものでした。「自然の利用」を意識しながら「学び」を作ってみませんか。広島県の芸北では、自然体験で得られる価値を「地域通貨」を使って「見える化」をしています。実例をもとに、自然体験と自然の価値について伝える方法を作ってみましょう。

講師 藤田 一友氏・白川 勝信氏

【藤田 一友】民間企業を経て小学校教員となる。赴任した芸北小学校の文科省研究開発校への指定を機に、地域住民との協働で学習指導要領にとられない野外学習の正規カリキュラムを作り上げる。子どもが自分自身を客観的に捉えることで成長する「メタ認知」を基調とした学びを大切にしている。

